

2019年12月20日

各位

会社名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 網屋 信介
(コード：9318 東証第2部)
問合せ先 企画管理部 天神 雄一郎
(TEL. 03-5534-9614)

子会社の事業撤退および営業外費用・特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、海外連結子会社である 臻萃本物（福建）餐飲管理有限公司（以下、「臻萃本物」といいます。）が中国福建省福州市にて実施している日本食レストラン事業から撤退することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、本件事業撤退に伴い、営業外費用・特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 事業撤退の理由

臻萃本物は、日本食レストラン事業「臻萃本物ジャパン・フード・タウン」として、台湾取引所上場企業・大洋百貨集团有限公司（以下、「大洋百貨」といいます。）の協力のもと、中国福建省福州市に位置する大洋百貨・福州中城店の7階フロアを使用し、日本食レストラン街を運営してまいりました。

出店テナントは2018年5月より順次オープンし、同年9月30日までには全店舗がオープンいたしました。中国景気が減速し消費が低迷する中、現地の消費水準・嗜好を的確に捉えることができず、目標売上・損益を達成できない状況が続いておりました。そのため、複数回にわたり、一部出店テナントの入れ替え、提供商品内容・価格の見直し等を実施し、高価格帯から中・低価格帯への転換を通じた売上の向上を試みてまいりました。

2019年9月には、同年9月27日付適時開示資料「子会社の事業縮小および特別損失の計上に関するお知らせ」にてお知らせしました通り、本件事業出店テナント全9店舗のうち、業績改善の目途が立たず、これ以上の営業の継続が困難であると判断された3店舗（HonMono CAFÉ、京都祇園小路、銀座長谷川）を同年9月末をもって閉店し、本件事業を縮小いたしました。また、2020年3月期第2四半期連結決算におきまして、当該3店舗閉店に伴う固定資産除却・原状回復により、約148百万円の特別損失を計上いたしました。

その後も、営業を継続する出店テナント6店舗の業績を精査し、本件事業の継続の可能性について検討してまいりましたが、この度、本件事業を終了し、経営資源を他の既存事業および新規事業に振り向けることが、当社グループの中長期的利益に貢献するとの判断に至り、2020年3月末を目処に順次、現残存店舗6店舗を全て閉店し、本件事業から撤退することを決定いたしました。なお、今後の事業撤退作業に関しては、出店フロアのリース元である大洋百貨の協力を得ながら実行してまいります。現残存各店舗の今後の閉店スケジュールは下記の通りですが、変更となる可能性もあります。

現残存店舗テナント（全6店舗）閉店計画日程

2020年1月20日閉店予定	瀬里奈（日式居酒屋）
2020年1月31日閉店予定	抹茶カフェ辻利茶舗（抹茶スイーツ）
2020年1月31日閉店予定	すずき家（豚骨ラーメン）
2020年2月29日閉店予定	神戸 明治庵（焼肉）
2020年3月31日閉店予定	相撲鍋屋 聖（牛鍋食べ放題）
2020年3月31日閉店予定	日式定食 武屋（定食）

2. 当該連結子会社の概要

(1) 名称	臻萃本物（福建）餐飲管理有限公司 英文表記：Zhencui Honmono (Fujian) Co., Ltd.		
(2) 所在地	中国福建省福州市鼓楼区東街街道八一七北路 133 号国際商厦餐飲 01 号 7 層		
(3) 代表者の役職・氏名	法定代表人 アンセム ウォン シュウセン		
(4) 事業内容	中国本土における日本食レストラン事業の運営・管理		
(5) 資本金	580,000,000 円		
(6) 設立年月日	2018 年 1 月 16 日		
(7) 大株主および持株比率	当社 100%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当該会社は当社の連結子会社であります。	
	人的関係	当社取締役 1 名が当該会社法定代表人を兼任しております。また、当社従業員 1 名が当該会社監事（監査役に相当）を兼任しております。	
	取引関係	当社は当該会社に対して金銭貸付取引を行っております。	
	関連当事者への該当状況	当該会社は当社の連結子会社であり、関連当事者に該当しております。	
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績および財政状態（単位：千円）			
決算期	—	2018 年 12 月期	2019 年 12 月期 (2019 年 1 月～ 2019 年 6 月)
純資産	—	354,430	285,334
総資産	—	381,307	363,876
売上高	—	77,470	87,094
営業利益	—	▲193,303	▲58,799
経常利益	—	▲188,818	▲57,013
当期純利益	—	▲188,818	▲58,380

3. 事業撤退に伴う営業外費用・特別損失の内容

(1) 営業外費用

2020 年 3 月期個別決算におきまして、当社から臻萃本物に対する貸付金 60 百万円および 2020 年 1 月に送金を予定している本件事業撤退に要する資金 30 百万円につき、本件事業撤退に伴う債権回収可能性の低下を反映し、その全額を貸倒引当金として営業外費用に計上する見込みであります。

(2) 特別損失

2020 年 3 月期第 3 四半期連結決算におきまして、今回の全店舗閉店に伴う固定資産除却損・原状回復費用等として、約 278 百万円の特別損失を計上する見込みであります。ただし、そのうち約 148 百万円は同第 2 四半期連結決算にて計上した固定資産除却損からの振替であるため、今回新たに計上する金額は約 129 百万円となります。

また、2020 年 3 月期個別決算におきまして、当社が保有する臻萃本物株式（簿価 580 百万円）につき、本件事業撤退に伴う投資回収可能性の低下を反映し、約 580 百万円（備忘価格 1 円を除く全額）を子会社株式評価損として特別損失に計上する見込みであります。

上記 (1) (2) の金額は現時点での概算であり、金額に重要な変更が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

4. 日程

当社取締役会決議日	2019年12月20日
事業撤退（全店舗閉店）完了日	2020年3月31日（予定）

5. 今後の見通し

本件事業撤退に伴い、上記3の営業外費用・特別損失を計上する見込みであります。

本件事業撤退が2020年3月期連結売上高、連結営業利益および連結経常利益に与える影響は現在精査中であり、2019年11月14日に発表した通期連結業績予想につきましては、その影響が判明次第、速やかに見直しを行い、開示いたします。

以上

（参考）今期連結業績予想数値（2019年11月14日発表）および前期連結実績

（単位：百万円）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益
今期連結業績予想 （2020年3月期）	1,359	△198	△218
前期連結実績 （2019年3月期）	1,630	△843	△847